

平成29年6月26日

各位

株式会社日本トリム

電解水素水の飲用効果、メカニズムの解明を目指し 日本トリム 理化学研究所との共同研究を開始

整水器シェアNo.1の株式会社日本トリム（本社：大阪市、代表取締役社長：森澤紳勝）は、国立研究開発法人理化学研究所（本部：埼玉県和光市、理事長：松本 紘、以下「理研」）と「電解水素水の効果の機序解明」に関する共同研究を本格的に開始いたします。

電解水素水整水器は、胃腸症状改善の効果が認められた管理医療機器に指定されております。当社では、1995年から20年以上に亘り国内外の研究機関と電解水素水（※1）に関する産学共同研究を実施し、胃腸症状改善以外の疾病予防や血液透析での副作用の抑制、農作物の収穫量増加など、優れて有意な生体効果を国際学術誌等で論文発表してきました（※2）。この度の共同研究は、動物及びヒトに対する効果の体系的なメカニズムを、理研が保有する国内最先端の研究ノウハウや計測技術等を活用して解明することを目的としています。研究期間は5年間とし、1、2年の比較的短期的な研究に加え、より高度な機能性を追求する中長期的研究を並行して実施いたします。

これまで蓄積してきた研究成果をさらに発展させ、また今後、電解水素水の各分野での事業拡充にも大きく貢献するものと期待し、本研究を事業の中核の一つと位置付けております。その成果をもとに、より高機能な電解水素水の生成方法や、新たな活用分野の開発にも取り組み、幅広く社会に貢献すべく邁進してまいります。

※1：電解水素水整水器から電気分解で生成されるアルカリ性の水素含有水

※2：27報、2017年6月26日現在

■ 共同研究概要

研究題目：電解水素水の効果の機序解明

期間：2022年3月31日までの5年間

関係組織：理研ライフサイエンス技術基盤研究センター健康・病態科学研究チームおよび光量子工学研究領域光量子制御技術開発チーム

研究内容：1. 電解水素水飲用による抗酸化・抗炎症効果の研究（対象：動物、ヒト）
2. 電解水素水による抗疲労効果の研究（対象：動物、ヒト）
3. 電解水素水の吸収動態の研究（対象：動物）
4. 水素水の濃度依存による効果の違いの検証及び物性試験

※2020年4月1日～2022年3月31日の期間については、3年間の成果をもとに決定

■日本トリムとは

日本トリムは、電解水素水整水器販売を主軸とした事業を展開し、これまでに85万台を超える販売実績があります。当社は世界に先駆け水が持つ機能に着目し、国内外の研究機関との産学共同研究により電解水素水の新たな可能性（機能）を追求しています。電解水素水の活用は飲用にとどまらず、血液透析へ応用した『電解水透析®』や、農作物の灌水・散布に利用した『還元野菜®』の栽培など、医療や農業分野への様々な応用を実現しており、今後も電解水素水をベースに世界へ挑戦するオンリーワン企業を目指します。

■会社名/株式会社日本トリム

- 設立年月日：1982年(昭和57年)6月12日
- 代表取締役社長：森澤 紳勝（もりさわ しんかつ）
- 資本金：992,597,306円
- 従業員数：481名（関連会社等を含む）
- 企業ホームページ：<http://www.nihon-trim.co.jp/>

＜本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ・ご質問＞

株式会社日本トリム 広報窓口 平井・浅尾 TEL:03-5511-8660 | 080-4781-8164

＜本研究に関するお問い合わせ・ご質問＞

日本トリム MD室 樺山 TEL：06-6456-4633